



## 運営推進委員会報告 … News発行へ

同窓会運営の改善を目的に新設されたこの委員会は、14人の役員(三役を含む)で構成されています。協議を重ねる中で、『運営推進委員会』としてすべき仕事内容が明確になって来ました。具体的には、

★会計監査の補助    ★同窓会の企画・立案    ★問題点の炙り出しと解決案の提言

などです。運営推進委員会一同運営改善に向け邁進して参りたいと思います。

また、新型コロナウイルス感染症禍にも拘らず意欲に満ちた役員の中から声が上ががり、「同窓会会報誌」秋季号に代わり、会員の皆さまに向けたニュース版を発行するに至りました。これからも、会員の皆さまに新しい耳寄りな情報をいち早くお知らせ出来るようします。

### \* 「News No1」へのご意見有り難うございました！

寄せられた意見を一部ご紹介します。紙面の関係で割愛部分のあることをご了承ください。知人に届いていない旨の連絡もありました。アドレス不明でお届けできない方をご存知でしたら、お知らせください。

コロナ騒ぎの中、クラブ活動も自粛しているところが多いので「つながり」が持てて良い企画ですね！  
(Sさん)

会の仕組みがよくわかりました。どこの会にも所属していない私の居場所があることがわかりました。  
(Tさん)

運営委員会で知恵を絞った甲斐があって、理念・組織構成が、すっきりしてきたと思います。以下に感想を。

- ① 第2章4条(目的)の改良に大賛成。社会貢献が前面に出ることが足かせになり、入会しにくくなる。会の本質は、市民同士の絆・交流。旧元気大学とIBSSCCが理念の相違をそのままに合併したので致し方ないと諦めていた。よくぞ踏み込んで、手をつけてくれた。
- ② 分科会形式は、個々の個性・希望に添ってターゲットを決めやすい。集団が分科会に整理され、活動の場を決めやすい。問題は、会則・決め事が、逃げ場のない、がんじがらめの内容になること。蒸留水には、魚は住めない。不純物が混じり、味がないと満足しないということだ。  
(Mさん)

## 同窓会主催特別公開講座「戦国 SENGOKU 秘話と謎」開催

コロナ禍により今年の市民大学全講座は中止となりましたが、講座再開を希望される方から「短期間講座でもいいので」などの要望があり、これに応じて岳真也先生に公開講座をお願い致しました。

日時：令和3年1月27日(水)、3月3日(水)、3月24日(水)  
各日とも午後2時より4時まで

会場：狭山市駅前市民交流センター1階

※ 連絡先：六車徳誠 (080-6548-4599)    ✉ ntbkc196@yahoo.co.jp

